



市立室蘭総合病院 広報誌

くじらんネット

病院の理念 おもいやりの心がかよう病院

病院の基本方針

- ・信頼される医療を持続的に提供します。
- ・自治体病院としての役割と責任を担います。
- ・経営の健全化と効率化に努めます。



リニューアル&パワーアップ リハビリテーションセンター開設!!

副医局長(リハビリテーション科技師長・整形外科部長) いし かわ いち ろう
石川一郎

皆さんは、ある日突然、転んで足の付け根を骨折してしまったらどうしますか？ 病院に運ばれ、手術が必要と言われる。痛さもさることながら、一番心配なのはこれからの生活の事では無いでしょうか。「家がアパートの2階だ」「家族は近くにはなくて日常生活に不安だ」「ちゃんと歩けるようになるのだろうか」etc.etc.

あるいは「脳卒中で倒れて半身が麻痺してしまった、話すのも容易でない、これからどうやって生活して行ったらいいのだろうか…」それだけではありません。「内科の病気で検査や治療のため長期間の入院が必要だ、場合によっては手術が必要かもしれない、その間に歩けなくなったらどうしよう…」

病気やケガで入院となって一番心配なのはもちろん治療そのものですが、同時に「歩けなくなったら」「日常生活に支障が出たら」という悩みを多く聞きます。

そこで皆さんの力になってくれるのが、リハビリテーションです。もちろん、リハビリは自分が自分の為に行うものですが、その為には励まし、正しい方向に導いてくれるプロの手助けが必要です。

当院では平成20年よりリハビリのスタッフを大幅に増員、身体のリハビリに関しては理学療法士(P.T)13人、作業療法士(OT)3人、言語聴覚士(ST)3人の19名が日々業務に当たっています。平成24年からは更にスタッフが増員され、全道の公立病院でトップクラスの陣容となります。ケガや病気のごく早期から、リハビリのスタッフが回復・復帰へ向けて一緒に頑張り、皆さんの力になってくれます。

また平成23年12月19日からは手狭になった訓練室から旧3階南病棟に移転、新しい設備も増設して、明るくて広い“リハビリセンター”となって生まれ変わりました。よりパワーアップしたリハビリに変身しています。

当院リハビリのモットーは「いつも明るく笑顔あふれるリハビリテーション」です。皆さん、一緒に頑張りましょう！ 病気やケガなんて、ぶっ飛ばせ！

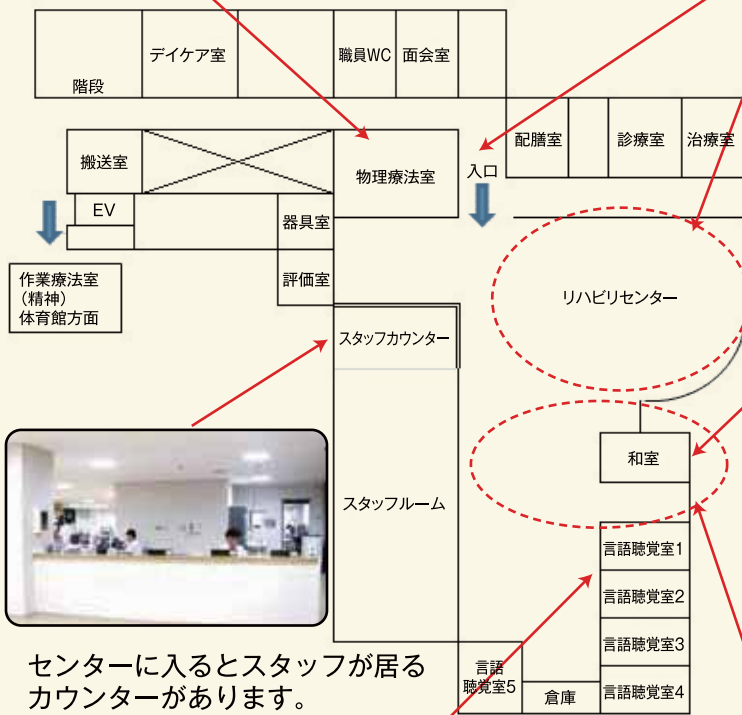
リハビリテーションセンター開設しました!

平成23年12月19日より1階にあったリハビリテーション科は南棟3階に移転し、「リハビリテーションセンター」として生まれ変わりました。理学療法・作業療法・言語聴覚指導など全てのリハビリエリアのスペースが広くなり、患者さんがより快適にリハビリができる環境となりましたのでご紹介します。

リハビリテーションセンター前に物理療法室があります。



リハビリテーションセンター入口



理学療法エリア



作業療法エリア 和室



センターに入るとスタッフが居るカウンターがあります。

言語聴覚室は5部屋あります。



作業療法エリア



シリーズ 健康講座

第20回

《外科》

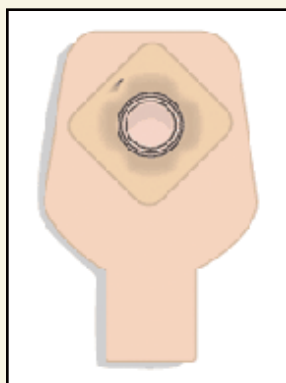
大腸癌（その6）

「人工肛門」



副院長（外科部長） しぶ や ひとし
澁 谷 均

直腸癌などにより自然肛門を残すことができない人に対して人工肛門（ストーマ）を造設します。一般的に人工肛門というと結腸による人工肛門をイメージしますが、膀胱癌などにより膀胱切除後回腸を用いて排尿のための人工肛門を造設する場合があります。これらを結腸ストーマ、尿路ストーマと呼びます。また患者さんによっては排便、排尿のための二つの人工肛門を造設する場合があります。人工肛門を持っている人のことをオストメイトと言います。オストメイトは生活上非常に不便な状況におかれます。それは毎日ストーマのケアをしなくてはならないからです。さらにストーマの合併症（びらん、湿疹、潰瘍、ストーマ旁ヘルニア）などがあるとケアはなおさら大変です。そのため、ストーマを造設する医師は合併症が起きないような良いストーマを造設することに最善の努力を払うことが必要です。以前と比べますと現在ではストーマの装具もそれぞれの用途に応じた良いものが開発されており、ストーマ管理は非常に容易になりました。それでもストーマの管理はオストメイトにとって結構な負担になり、高齢に伴うストーマ管理上の問題点も指摘されてきています。最近では高齢化社会を反映し、オストメイトの高齢化がさらに目立つようになりました。当院ストーマ外来に通っているオストメイトの約30%は75歳以上です。対策として家族、また施設の看護師、介護士などが協力してストーマ管理の支援をする必要があります。



ストーマで何かお困りのことがありましたらストーマ外来を受診して下さい。

ストーマ外来

担当スタッフ：澁谷 均医師 山本認定看護師
佐々木 賢一医師 西谷認定看護師
診療日時：午後2時～ 完全予約制
毎月第2・4火曜日（澁谷） 毎月第1月曜日（佐々木）
受付方法：電話 0143-25-3111 内線：2601（外科外来受付）



《市立室蘭総合病院 専門外来のご紹介》

当院は一般診療科の他に専門外来も行っています。主な専門外来をご紹介します。
詳細は当院HPを検索してください。

市立室蘭 専門外来

検索

トマト外来

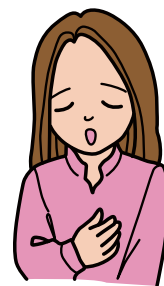


「もう生理に振り回されない」をテーマに、生理トラブルや避妊、性感染症など相談しにくい生理や性に関する内容を専門で取り扱う外来です。内診は必須ではありませんし、緊急避妊薬（アフターピル）などの処方も行います。

担当医：太田 雄子医師

診療日時：毎週水曜日 完全予約制

受付方法：電話 0143-25-3111で「トマト外来希望」とお伝えください。



禁煙外来

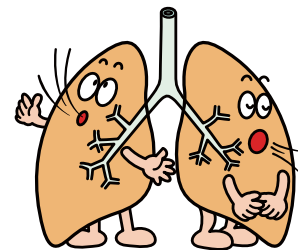


喫煙者の多くは「ニコチン依存症」で、これは病気です。ニコチン依存症と診断された方で「禁煙」を希望される方に「禁煙治療プログラム」（12週間にわたり、計5回の禁煙治療をおこなうプログラム）に基づき、治療を行います。

担当医：呼吸器内科医師

診療日時：毎週火曜日 正午～（一般外来診療終了後）
完全予約制

受付方法：電話 0143-25-3111 内線：2503
（内科受付）13:00～17:20



男性機能外来



勃起、射精、男性不妊などの問題や男性更年期障害（加齢男性性腺機能低下症候群＝LOH症候群）の患者さんを対象とした外来です。自由診療（保険適応外）となることもありますが、投薬などの治療があります。

担当医：加藤 隆一医師

診療日時：初回は月曜日 2回目からは水曜日午後 完全予約制

受付方法：電話 0143-25-3111で
「男性機能外来希望」とお伝えください。



乳腺外来



乳房にしこりがある、乳汁が出る、乳房が張った感じがする…など気になる症状がある方を対象とした外来です。悩みに応じて検査を行い、手術等様々な治療を行います。

担当医：澁谷 均医師

診療日時：毎週火曜日午後

受付方法：電話 0143-25-3111

内線：2601（外科外来受付）



緩和ケア外来



病気とその治療に伴う身体症状、不安、気分の落ち込みなどの心の問題についてお話を聞きます。また、仕事や医療費などの社会的問題を軽減しその人らしい生き方ができるよう、病気の早い段階から患者・家族の人達にアドバイスをします。

担当医：澁谷 均医師

診療日時：毎月第1・3・5火曜日 午後2時～ 3名/1日

完全予約制

対象者：当院外来通院中の方（主治医からの紹介状が必要）

受付方法：電話 0143-25-3111

内線：2601（外科外来受付）



スポーツ外来



コンサドーレ札幌のチームドクターである中野先生の外来を毎月1回行っています。

担当スタッフ：中野 和彦医師 小池 敦理学療法士（西岡第一病院）

診療日時：毎月第3週火曜日 午後2時～

受付方法：電話 0143-25-3111

内線：2601（整形外科外来受付）



小児精神科外来



毎月1回、子どもの心の悩み、不登校などを対象とした診療を専門外来として行っています。

担当医師：設楽 雅子医師

診療日時：毎月第3金曜日 午前9時～正午 完全予約制

受付方法：電話 0143-25-3111

内線：2701（小児科外来受付）



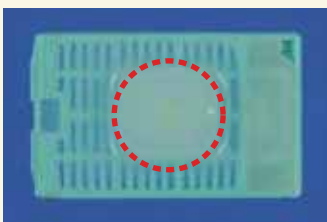
この他に「ペースメーカー外来」や眼科、整形外科、形成外科の札幌医科大学の出張医による専門外来もあります。

びょうり検査室ってどんなところ？

「組織をとって病理検査をしましょう」「細胞をとって顕微鏡でみましょう」といわれたら、私たちの出番です。病理組織検査と細胞診検査を担当しています。2人の病理医師が迅速に正確な診断が出来るように、4人の病理技師が組織標本を作製します。内視鏡検査で採られた小さな組織や手術で切除された大きな組織の標本作成はお任せ下さい。私たちが、責任を持って大切に標本を作製します。

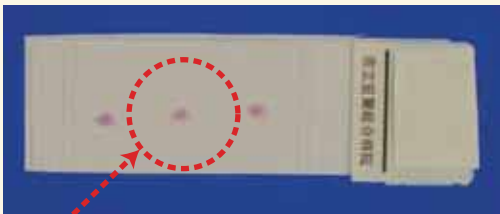
出来上がった標本(プレパラート)は、病理医が病理診断を行います。又、私達はいつも覗いているのです。悪性細胞がないか、異型細胞がないかと細胞検査士が、静かに集中して顕微鏡を覗きます。

例えば、内視鏡でとられた1個の胃の組織です。



胃生検標本
(パラフィンブロック)

胃生検標本(プレパラート)



標本(パラフィンブロック)を薄切するマイクローム

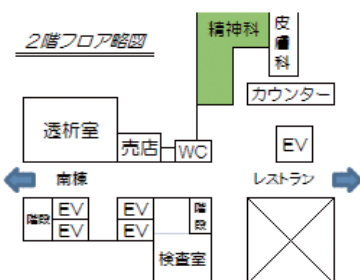
この標本を病理医は、顕微鏡で観察し組織診断を行います。悪性なのか、良性なのか、どんな病変なのかを報告します。



この顕微鏡で、細胞診検査標本を覗いています。良性細胞や悪性細胞などを探します。癌の早期発見や診断の一助となれる事を望んでいます。さらに、病理解剖医と共に病理解剖にも携わっています。

病理検査室では、毎日この様な仕事をしています。

《精神科外来の場所が変わりました》



平成23年12月19日より1階にあった精神科外来が2階(旧小児科外来)に変わりました。



市立室蘭総合病院 広報委員会

〒051-8512

室蘭市山手町3丁目8番1号

事務局総務課

TEL (0143) 25-3111 FAX (0143) 22-6867

<http://www.city.muroran.lg.jp/main/org8400/>